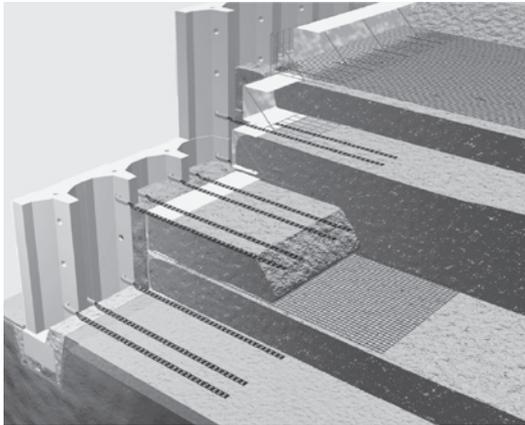
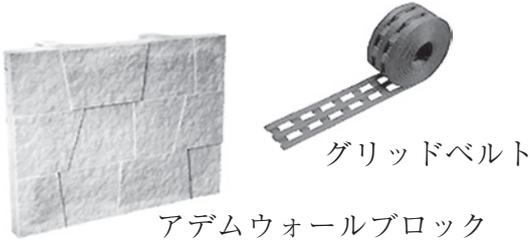
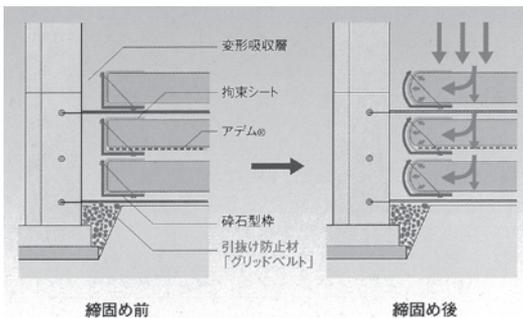


●アダムウォール特長

○アダムウォール工法は、アダムにより補強された自立する垂直盛土と、アダムウォールブロックの壁面体からなる二重壁構造の擁壁工法です。アダムウォールブロックの壁面体とアダムは、直接連結せず引抜け防止材「グリッドベルト」を設置することで一体化しています。



○壁面材と、盛土との間に変形吸収層を設けることにより重機での盛土材の十分な締め固めが可能になり、さらに砕石の投入により土圧を分散・吸収し、壁面材にほとんど作用しません。よって施工後に壁面材の変形が生じにくい構造になっています。



○グリッド状にし摩擦抵抗力を高め引抜け防止効果の顕著な、多数のグリッドベルト（1個のブロックにつき8本）により、補強された盛土と壁面体は連結・一体化し擁壁の安定性を向上させています。このグリッドベルトを使用するカイトタイプにより、従来工法と比較し部材の簡素化が図られコスト削減にも貢献しています。

○主要部材はコンクリート、高分子材料で構成されており、金属を使用していないため、耐腐食性・耐久性に優れており、特に塩害に強い構造になっています。

●施工手順

1. 掘削・整地

所定の長さのアダムが接地できるように、施工計画に基づいて基礎地盤を掘削します。次に振動ローラー、タンパなどで転圧して整地します。また、湧水などがある場合には排水処理を行います。



2. 基礎工

砕石層の上に基礎コンクリートを打設し、天端は水平に仕上げます。また、壁面あわせのための墨だしを行います。



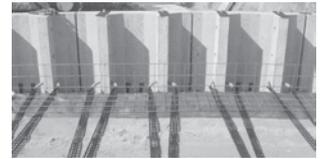
3. ブロックの設置

水平器とくさびを用いて、垂直度や水平度を微調整します。まずは1段目のブロックを所定の位置に設置します。2段目以降は転倒防止のため、専用プレートで上下のブロックを連結します。



4. 引抜け防止材の設置

ブロックの連結穴にグリッドベルトを通し、左右均等な長さで、ねじれ及びたるみが無いように設置します。グリッドベルトは十分に緊張させ、固定ピンで端部を固定します。



5. 砕石型枠の設置・組立

砕石型枠をブロック背面から所定の位置に合わせ設置します。さらに砕石型枠の内側に拘束シートを取りつけ砕石型枠一基に対して、両端部から50cmピッチで5箇所背筋をかけます。



6. 盛土材のまき出し・締め固め

盛土材をまき出した後、転圧機械により十分に締め固めを行います。砕石型枠の高さまで盛り上がった後、拘束シートを盛土側へ巻き返します。



7. 砕石の投入

所定の高さまで盛土が立ち上がった時点で、変形吸収層に単粒度砕石を投入します。



8. 完成

2～6と同様の作業を擁壁の設計高さまで繰り返します。計画高さまで施工した後、天端処理として天端コンクリートを打設して、付帯工事等を終えて完成となります。

